

日本原電前抗議行動プログラム

～絶対に老朽原発を再稼働させてはいけない～

- 17:00 開会のあいさつ：久保清隆(司会、首都圏連絡会)
- 17:02 主催者スピーチ：柳田真(首都圏連絡会)
- 17:07 脱原発スピーチ：野口修さん(東海第二原発の再稼働を止める会)
---- 1月に東海村で行われた村議選について
- 17:17 参加者スピーチ：小林晶子さん(放射能汚染水海洋放出に反対する北区の会)
- 17:22 申入書受け渡し：伊谷和男(首都圏連絡会)
- 17:27 申入書受け渡し：武笠紀子さん(反原発自治体議員・市民連盟)
～¥100カンパコール～
- 17:33 日本原電前アクション音楽開始
～日本原電6人衆による♪日本原電前アクション音楽2024.1.10～
- 17:43 行動提起：横田朔子(首都圏連絡会)
- 17:45 シュプレヒ・コール：中村泰子(首都圏連絡会)
- 17:47 閉会のことば：久保清隆(司会、首都圏連絡会)
- 17:48 終了(予定)

この後は
東電前だ!



みんな、この後は東電前に
行って抗議するのだ!



このあと18:45からは東京電力本店前にて抗議行動です!

今後の行動予定

- 2月24日(土) 2.24学習討論会 --- 能登半島地震クラスの地震による原発への影響について学習・討論
- 3月1日(金)～11日(月) 一斉行動・第11波
- 同月11日(月) 第68回日本原電前抗議行動

志賀原発が稼働していたら.....

(前回の原電前行動での山崎久隆さんのスピーチより抜粋)

(前略)実際に志賀原発は約400ガルの揺れで揺さぶられたということになっています。ですがすでに止まっていたので実は様々な不具合、異常が起きていても顕在化していないんですね。その中の一つに実は主タービンの軸が伸びた、というのがあります。これはどういうことかという高速で回転しているタービンの軸が引張方向に引っ張られて伸びたというんです。そんなことがもし運転中に起きていたらどうなっていたかという、回転しているタービンの羽根が様々な所に激突してタービンミサイルとなって爆発していたでしょう。そのくらいに激しい揺れに襲われていたならば、志賀原発が稼働していたなら、取水ができなくなり、さらにタービンミサイルとなって羽根車の羽根が様々な所に飛び散りそして原子炉の冷却が不可能になり、当然非常用電源も含め変電設備は火災を起こし、福島第一原発事故よりひどい、瞬時に爆発するような、そういう事態になっていてもおかしくはなかったんです。たまたま今回の志賀原発は止まっていたし、長時間止まっています、2012年から止まっていますので使用済み燃料プールの燃料も冷えていて冷却水が空っぽになっても12日間くらいは燃料は溶けださないと想定されていました。そういう原発ばかりであればメルトダウンしない可能性は高いでしょうが、運転中の原発で今回の能登半島地震のような直撃を受ければどんな原発もつはずはないのです。(後略)

～日本原電前音楽アクション2024.2.7歌詞～



♪1.GO GO 投票 (海のトリトン) by右田春夫
 水平線の向こう側 あああ 汚染水を流すのか
 福島の事故片付けられず 再稼働する老朽原発
 広がる海の彼方から あああ 世界の恨みの矛先が
 何も知らない子どもらを襲う原電東電知らん顔 GoGo 投票 GoGo 投票
 東電原電を止める (安倍菅岸田次は誰だ～自民じゃダメだ)
 カルト選挙の向こうには あああ 何があると言うのだろう
 弱み握られた自民の議員が 9条壊し子ども死なせる
 広がる海に汚染水流し 広島のが核武装
 人道も捨て未来も捨てて今だけ金だけ自民党 GoGo投票 GoGo投票 ジミントウを落とせ!

♪2.君と僕の未来 日本原電前 byマアルハート・バンド
 青い空と緑の大地と青い海を守れ!!
 母がこころ込めて育てた 野菜たちを守れ
 ※東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ!! 守れ!!
 青い空と緑の大地と青い海を守れ!!
 父が採った美味しい魚を 放射能汚染から守れ
 ※東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ!! 守れ!!
 青い空と緑の大地と青い海を守れ
 君と僕の未来守れ!! 子ども 命を守れ!! ※くりかえし
 ※東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ!! 守れ!!

♪3.原発廃炉ブギ (東京ブギ～武器ウギ) byジョニーH
 魔炉ブギウギ 心ドキドキ テロにビクビクズキズキ
 世界が恐れる それは 原発事故
 魔炉ブギウギ 心ドキドキ テロにビクビクズキズキ
 今すぐすぐさま原発 廃炉ブギウギ
 地震来るたびドキドキ 津波来るかとハラハラ
 いつもいつも心配 ビクビクしちゃう
 魔炉ブギウギ 心ドキドキ テロにビクビクズキズキ
 今すぐすぐさま原発 廃炉ブギウギ
 ミサイル54発が 日本の原発に飛んでくしゃ たちまち日本全土は壊滅しちゃう
 原発54基を魔炉にすれば 安心安全平和な未来
 原発棄てましょ 今すぐ**魔炉!** 原発棄てましょ 今すぐ**魔炉!** 不気味な原発 魔炉ブギウギ
 原発棄てましょ 今すぐ**魔炉!** 原発棄てましょ 今すぐ**魔炉!** 不気味な原発 魔炉ブギウギ

※下線・斜字はみんなで歌いましょう!



申入書

「3.11を忘れない東海村イレブンアクション（共同代表 加藤岑男 相沢一正）」は、昨年12月中旬に防潮堤工事について日本原電東海事業所に申し入れし、27日に交渉を行った。「取水口部の鋼製防護壁を支える北基礎における「高止まり」（設計深度に到達していない）について、「工事不良」とは考えていないのか」との質問に対し、「社内の用語では『工事不良』ではない。品質保証の『不適合』ということだ」と回答した。さらに「どういう計算なのか判らないが、予定深度まで鉄筋かごが届いていないのだから、その分だけ強度は落ちるはずではないか」と追及すると、「落ちるが、裕度の範囲内ということだ」と回答した。

「強度は落ちる」と明確に認めておきながら、「許容できる範囲」であることには何も具体的に示されていない。日本原電本店もしくは東海事業所は、「許容できる範囲」というなら具体的な根拠を明らかにすべきである。

そもそも日本原電は、内部告発で欠陥工事が明るみになるまで、ずっと隠し続けていたのではないか。しかも内部告発で露呈したこと以外は、今もすべて隠しているのではないか。どんなにひどいことをやっても“ばれなければいい”と思っている原電の言うことなど、誰が信用するというのか。

原電は東海第二の再稼働を目指し、今年9月の完了を目標に事故対策工事を進めてきた。村松衛社長は1月11日の茨城原子力協議会の賀詞交換会後に、「非常に厳しい状況」だが「目標に変更はない」と言い放ち、欠陥工事を居直って強硬突破しようとしている。許されない。

さらに原電は1月12日に、防潮堤工事の調査結果を発表した。コンクリートの未充填と鉄筋の強度不足だけを補強する方針を示した。原電は同日、結果と対応方針を原子力規制庁に報告した。今後、同庁の評価を受けた上で補強に着手するという。鋼製防護壁が設計深度に達していないという最大の問題にふたをして、工事を強行しつづけることは、絶対にあってはならない。

能登半島地震は、大地震による原発大事故の危険を改めて衝撃的に示した。「地震の巣」と言われる県南西部や茨城県沖は地震多発地帯だ。政府の地震調査推進本部によると、「茨城県沖の繰り返し発生する地震以外の地震については、M6・9以上の地震を対象とすると、1885年から2011年までの約126年間に5回発生しており、約25.6年に1回発生していた」。欠陥工事によって建設される防潮堤など、大地震に耐えられる保証があるはずもない。日本原電は東海第二再稼働のための工事を直ちにやめよ。

とめよう！東海第二原発首都圏連絡会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-1 高橋セーフビル1階 たんぼ舎気付
電話 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 E-mail:stoptokai2.shutoken@gmail.com

反原発自治体議員・市民連盟

（共同代表）佐藤英行岩内町議会議員・野口英一郎鹿児島市議会議員

福士敬子元東京都議会議員・武笠紀子元松戸市議会議員

要請書

能登半島地震を教訓に、日本原子力発電は東海第二原発の再稼働を中止するよう求めます

1月1日の能登半島地震は、改めて地震多発国で原発を動かす危うさを突きつけました。震源地近くに計画されていた珠洲原発があったなら、また志賀原発や柏崎・刈羽原発が稼働中であったなら、福島第一原発事故を超える大惨事に至ったおそれがあります。貴社・日本原子力発電株式会社（以下原電）には、能登半島地震を教訓にし、東海第二原発の再稼働を止めることが求められます。

第1に、能登半島では2020年から地震活動が活発になり、地下に海洋プレートの“流体”が流れ込んだことが今回の地震の原因の一つだと指摘されています。数々の断層があることへの過小評価も指摘されています。一方茨城県沖も太平洋プレートと陸のプレートの境界で、M6.7 - 7.2の地震が繰り返し発生しています。加えて県南西部は地震の巣と呼ばれています。また茨城県沖は3.11東日本大地震の震源域となっており、地震調査研究推進本部では今後もM7を越える地震が発生する可能性があるとしています。原発立地として不適切であり、このような立地で原発を稼働するのは危険です。

第2に、浮き彫りになったのは、緊急時の住民避難が計画通り進まないことです。大量の放射性物質が放出された場合、原発5~30キロ圏内は屋内退避が原則ですが、震源を中心に広い範囲で家屋が破損し倒壊すれば家にはいられず、屋内退避は不可能ということでした。「原子力災害対策指針」が機能しない以上、原発を動かすべきではありません。

そこで貴社に、以下要望します。

- 一、防潮堤の安全対策が不十分なまま再稼働することは、地震・津波の危険性を軽んじるものであり、今年9月の再稼働は中止するよう求めます。
- 二、地震の巣とも言われる県南西部に近い東海第二原発の再稼働を中止し廃炉を求めます

連絡先：東京都杉並区高井戸東3-36-14-301 fax03-3317-0356

電話：090-5497-4222 アドレス：seiichi@keshiba-shinjo.net